

令和4年度 学校評価の結果について

令和5年2月24日

よりよい教育活動を目指して

苫小牧市立ウトナイ小学校長 丹野 靖彦

この度は、学校評価への回答にご協力いただき誠にありがとうございました。

保護者の皆様からお寄せいただいたご意見、ご要望等を参考に、本校の課題を学校全体で受け止め、よりよい教育活動を展開していけるよう検討し改善を図って参ります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

〔達成状況〕

- 教職員や児童、保護者の4点満点の評価結果や課題等の内容から、達成していると判断したものをA、おおむね達成をB、不十分であることをCとしています。

〔学校関係者評価〕

- 達成状況の判断や次年度の方向性について、学校評議員やPTA役員からいただいたご意見などから、適切であると評価されたものをA、おおむね適切をB、不適切であることをCとしています。

分野	評価項目 (質問内容は省略)	自己評価				学校関係者評価
		教職員	児童 保護者	達成 状況	アンケート結果等を踏まえた改善策	
確かな学力の向上	基礎基本の確実な定着	3. 2	3. 5 3. 3	A	子どもの様子を参観する機会が減り、子どもの学習状況が分かりにくいといった意見がありました。	A
	授業改善の取組	3. 2	3. 3 3. 3	A	コロナ禍で制限された中でも、できる限り保護者の皆様に参観・懇談いただく行事や機会の確保に努めて参ります。	A
	指導方法の改善	3. 2	3. 5 3. 4	A	ICT（タブレットやデジタル教科書）の活用による個に応じた指導や多様な学び合いができる授業づくりのより一層の工夫・充実に努めて参ります。	A
	特別支援教育の充実	3. 3	— 3. 2	A	配慮を要する児童の理解を深め、適切に支援してほしいといった意見がありました。 子どものよさや課題を適切に把握した上で、個に応じた丁寧な支援の充実に努めて参ります。	A
	学校関係者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・学級閉鎖時にタブレットを持ち帰る取組はよいと思うが、学校の時間を意識付けることから朝の時間帯だけでなく、学校の終了時間に行う取組もぜひ検討してほしい。 ・次年度は、学校での子どもたちの様子を多くの保護者に参観してもらう機会や取組を増やしてほしい。 ・先生方には子どもの理解をより深く理解してもらえるようにしてほしい。 				

分野	評価項目	自己評価				学校関係者評価
		教職員	児童保護者	達成状況	アンケート結果等を踏まえた改善策	
豊かな心と健康な体	道徳教育の充実	3. 2	3. 4 3. 3	A	学力だけでなく心を成長させる日常の道徳教育を充実してほしいといった意見がありました。教職員の人権意識の向上を図り、自他を大切にしている指導の充実に努めて参ります。	A
	読書活動の充実	3. 0	2. 7 3. 2	B	校内において読書習慣の定着に課題があるとの反省がなされました。読書量の増加に向けた多様な取組を工夫し、家庭と連携を図った読書教育に努めて参ります。	A
	生徒指導の充実	3. 3	3. 4 3. 2	A	トラブルへの対応などで、子どもの言い分を聞かず、強い叱責だけで指導が終わっているケースがあるといった意見がありました。教育のプロとしてのコーチングスキル向上を常に意識し、子どもの理解と納得に基づく生徒指導の推進に努めて参ります。	A
	基本的な生活習慣の確立	3. 3	3. 3 3. 2	A	新学期からコロナの対応がインフルエンザと同じ「5類」対応になることから、その際の「学校に求められる生活スタイル」を踏まえた教育活動の推進に努めて参ります。	A
	体力づくりの推進	3. 5	3. 4 3. 3	A	校内において運動会の実施形態を検討する必要があるとの反省がなされました。コロナ「5類」への対応の中で、ふさわしい実施形態の工夫に努めて参ります。	A
	学校関係者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> 児童数が多い中、先生方には様々な対応をしていただけていると考えている。また、「学校だより」の配信による情報提供もよい取組だと思う。 校長や先生方による児童玄関前の朝の挨拶は子どもたちにより影響を与えていると思う。今後も継続して挨拶のできる「ウトナイの子」を育ててほしい やってよいことや悪いことが考えられる子ども、読書が好きな子ども、先生方に悩みや相談を話せる子どもを育ててほしい。 				
家庭・地域との連携	家庭学習の定着	3. 5	2. 9 3. 0	B	家庭学習の取り組み方や提出の仕方で分からないことがよくあるといった意見がありました。家庭学習や宿題の基準をより明確にして、学校全体での取組を進めて参ります。	B
	開かれた学校づくりの取組	3. 5	3. 5 3. 3	A	子どもたちの様子を含め、学校の様子が分かりにくいといった意見がありました。参観可能な行事や機会の確保に加え、各種お便り等での学校の様子の発信に努めて参ります。	A
	学校関係者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれ、家庭学習の時間に大きな差が出ているように感じる。予習や復習を取り入れて授業と関連付けることで、家庭学習の効果を実感させるなど、子どもの意欲を高める工夫をしてほしい。 				

- ◇ 保護者の皆様からいただいたご意見やご要望の全てを記載することはできていませんが、既に個別対応しているものや次年度の具体的な取組に反映させていくことで、来年度の学校づくりに生かしていきたいと考えております。
- ◇ そうした中、次年度「コロナ5類」に変更した後の教育活動では、これまでの経験とは違った内容や方法で取り組まなければならない活動も多くあり、皆様方の声に全て対応できないことも想定されます。
- ◇ しかしながら、学校は子どもが毎日来たくなるような「楽しい」学びの場所ではなくてはなりません。結果を真摯に受け止め学校改善に努めて参りますので、今後も保護者の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。